

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リニエプラッツ草津		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 1 月 12 日		～ 令和 8 年 2 月 7 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和 7 年 12 月 1 日		～ 令和 8 年 1 月 16 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 18 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士・言語聴覚士・児童指導員といった専門職が療育・支援に関わっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職種の専門分野外の内容に対して、意見・相談できる環境づくり。</li> <li>ケース会議の充実。</li> <li>客観的なスクリーニング・アセスメント(遠城寺、LC-Rチェックリスト等)の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>半年(もしくは1年)に1回、客観的な評価ツールを使用し、評価、アセスメントを行い、明示的な変化・発達をみていく。</li> <li>新たに心理面や社会性に対する客観的に評価、アセスメントの導入を行う。</li> </ul>
2	療育内容の見える化と発信。	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団活動の目的、子どもの様子をインスタや事業所のお便りで写真付きで定期的に発信。</li> <li>保護者はじめ支援者(関係機関等)への発信。</li> <li>SSTでは積み重ねの中での変化を伝えるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別療育の内容や様子を伝えていく。</li> <li>言語聴覚士、作業療法士、児童指導員等の視点や療育内容の発信を行う。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士・きょうだい同士の交流機会、放課後児童クラブや児童館との交流機会、地域の他のこどもと活動する機会の確保。	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催頻度が少ない。</li> <li>交流会においては、就労している保護者の方が多く、平日(営業日)での開催が困難。</li> <li>地域の子どもと活動できる場や機会の情報収集不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の夏祭り等の情報収集を行い、年間計画に位置づける。</li> <li>個別療育対象のお子さんも参加できる機会を検討していく。</li> </ul>
2	個別療育利用児における非常災害の発生に備えた定期的な避難、救出その他必要な訓練の実施。 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の周知。	<ul style="list-style-type: none"> <li>療育時間内(45分)での実施時間の確保。</li> <li>新規利用児の保護者に対する説明不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別療育対象のおさんは、年2回療育時間内に実施することを案内していく。</li> <li>契約時に説明を行っていく。</li> </ul>
3			